

# 区民委員会報告資料

令和6年2月28日

報告事項件名	頁
1 令和5年度足立区文化芸術劇場（シアター1010）の指定管理者運営評価結果について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 足立区文化芸術劇場（シアター1010）天井裏ボルトの落下について・・・・・・	9
3 足立区文化・読書・スポーツ分野計画の一部改定及びパブリックコメントの実施結果について・・・・・・・・・・・・・・・・	12
4 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会からの令和5年度助言に対する区の考え方について・・・・・・・・・・・・・・・・	14
5 未返却図書資料対策プランについて・・・・・・・・・・・・・・・・	18
6 令和6年度北千住都市開発株式会社の事業計画及び収支予算について・・・・・・	別添
7 令和6年度公益財団法人足立区スポーツ協会の事業計画及び収支予算について・別添	

(地域のちから推進部)

# 区民委員会報告資料

令和6年2月28日

件名	令和5年度足立区文化芸術劇場（シアター1010）の指定管理者運営評価結果について															
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課															
内容	<p>足立区文化芸術劇場指定管理者の令和4年度業務について、足立区文化芸術劇場運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 評価委員会開催日</b> 令和5年12月25日（月）</p> <p><b>2 評価対象期間</b> 令和4年4月1日（金）から令和5年3月31日（金）まで</p> <p><b>3 指定管理者</b> 共立・キョードー東京・大星ビル管理共同事業体 （代表者 株共立 代表取締役 横田 健二）</p> <p><b>4 指定管理料</b> 273,398,293円</p> <p><b>5 評価委員会委員構成（計5人）</b></p> <table border="1" data-bbox="440 1272 1406 1868"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>氏名</th> <th>勤務先等（専門）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">学識経験者</td> <td>【委員長】 熊倉純子</td> <td>東京藝術大学大学院 国際芸術創造科教授 （文化芸術（音楽））</td> </tr> <tr> <td>【副委員長】 小林真理</td> <td>東京大学大学院 人文社会系研究科教授 （文化政策）</td> </tr> <tr> <td>垣内恵美子</td> <td>政策研究大学院大学 名誉教授 （文化政策）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">区民</td> <td>高柳千代</td> <td>シアター1010友の会会員</td> </tr> <tr> <td>中島明子 （当日欠席）</td> <td>元足立区区民評価委員会委員</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>6 評価方法</b>            (1) 指定管理者による自己評価（セルフチェック）            (2) 区職員による実態調査（モニタリング）に基づく評価            (3) 利用者アンケートの集計・分析            (4) 評価委員による評価</p>	種別	氏名	勤務先等（専門）	学識経験者	【委員長】 熊倉純子	東京藝術大学大学院 国際芸術創造科教授 （文化芸術（音楽））	【副委員長】 小林真理	東京大学大学院 人文社会系研究科教授 （文化政策）	垣内恵美子	政策研究大学院大学 名誉教授 （文化政策）	区民	高柳千代	シアター1010友の会会員	中島明子 （当日欠席）	元足立区区民評価委員会委員
種別	氏名	勤務先等（専門）														
学識経験者	【委員長】 熊倉純子	東京藝術大学大学院 国際芸術創造科教授 （文化芸術（音楽））														
	【副委員長】 小林真理	東京大学大学院 人文社会系研究科教授 （文化政策）														
	垣内恵美子	政策研究大学院大学 名誉教授 （文化政策）														
区民	高柳千代	シアター1010友の会会員														
	中島明子 （当日欠席）	元足立区区民評価委員会委員														

評価委員会では、指定管理者によるプレゼンテーションと評価のための質疑応答を実施。

## 7 評価結果

### (1) 総合評価

年度	得点	得点率	評価
令和3年度	141点	88.1%	A
<b>令和4年度</b>	<b>131点</b>	<b>81.9%</b>	<b>A-</b>

(別紙1「足立区文化芸術劇場 業務評価シート」参照)

### (2) 内訳

年度	管理状況	事業効果	アンケート
令和3年度	63.9点/75点	39.0点/45点	38.5点/40点
<b>令和4年度</b>	<b>61.0点/75点</b>	<b>34.1点/45点</b>	<b>36.0点/40点</b>
対前年比	-2.9点	-4.9点	-2.5点

### (3) 主な評価結果

#### ア 管理状況について

前年度に引き続き、テレワークや検査キット配付等、コロナ禍での勤務体制整備の加点提案がされたが、令和4年度では標準的な勤務体制の範囲内として加点を認定しなかったため、昨年度より減点となった。

#### イ 事業効果について

令和4年度はコロナ禍において、制限が緩和され、全国的にイベントも再開されていたことから、コロナ禍を理由としたワークショップやアウトリーチ事業の中止は基準点の減点は免れず、昨年度より減点となった。

#### ウ アンケートについて

事業満足度は高かったが、利用効果（今後の施設利用意向）がやや低いと判断し、昨年度より減点となった。

## 8 委員会での主な意見

### (1) 指定管理業務について

ア 話題性のある公演を誘致し、存在感を示しているのが、継続してほしい。

イ ブランディングへの熱意を感じる。並行して区民還元にも力を注いでほしい。

### (2) 評価方法について

利用者の声を反映するため、アンケートの見直しが必要である。

## 9 評価結果の公表

令和6年3月頃、区ホームページに掲載予定

## 10 今後の方針

指摘された課題や委員からの意見を指定管理者に通知し、今後の運営に活かすよう求めていく。改善が必要とされた項目については改善計画書を提出させ、実態調査等により改善結果を確認していく。

足立区文化芸術劇場 業務評価シート

施設名/足立区文化芸術劇場（シアター1010）

【評価対象年度】令和4年度 【自己評価】令和5年4月1日 【評価委員会】令和5年12月25日  
 【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点  
 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目					
1 管理状況	A 適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか		評価点×2			
			指定管理者	担当課	評価委員会		
		1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付、など	10.0	10.0	24.0 (満点30点)	
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置 など	10.0	6.0		
		3	人材育成の取り組み(意識、接遇の向上) ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施 など	10.0	8.0		
			指定管理者者記入欄	【アピールポイント】前年に引き続き、全従業員分のPCR検査・抗原検査キットを200セット用意した。また、前年度の区貸与分以外に空気清浄機を自主的に増設したほか、感染防止対策のマニュアルを継続して更新した。これらにより、コロナ陽性者が出て影響なく施設運営を行うことができた。時短・時差・テレワーク等を組み合わせながらも、勤務体制に支障なく運営した。ビル経営管理士の資格取得や、他施設の見学を通して、管理ノウハウを向上させた。			
				【改善すべき点・課題等】コロナ後の文化芸術活動再活性化を意識して、運営管理を進めたい。			
			区記入欄	【特記事項】コロナ対応は引き続き積極的に行っていた。1-A-2の従業員の勤務体制についての加点提案(コロナ禍における運営に支障のない勤務体制の整備)は、既に令和4年度には標準的な業務体制となっており、通常業務の範囲内と判断した。1-A-3の従業員にビル経営管理士を取得させていることは評価できる。			
			評価委員会記入欄	【評価すべき点】大きな問題はない。空気清浄機の導入や人材育成に力を入れている。 【改善すべき点】 【その他注意点】施設の老朽化に伴い、中長期的修繕計画を策定する必要がある。			
		B 安全性の確保		施設の安全性が確保されているか		評価点	
	指定管理者			担当課	評価委員会		
1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応 など			5.0	5.0	16.0 (満点20点)	
2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案 など			4.0	4.0		
3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施 など			5.0	4.0		
4	危機管理(防災・防犯・事故対応)が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知 など			5.0	3.0		
	指定管理者者記入欄			【アピールポイント】前年に引き続き、各所の整備・交換作業や安全対策を実施した。電気系統の安全チェックとして、分電盤絶縁測定は実施しないと危険であるため、今回も実施。照明のLED化を今年度も継続。防災のため、各所の予防保全を実施。愉快犯対策として貸し室のゴミ箱を撤去し、申出者に貸し出す方式に切り替えた。 【改善すべき点・課題等】水銀問題等による蛍光管製造&輸入停止時期(2027年末)が近づいており、予算の余裕のある限り、LED化推進を積極的に進めていきたい。			
	区記入欄			【特記事項】今年度も予防保全が充実している。電気代の高騰が騒がれた一年だったが、電球の廃番等に伴う照明のLED化を継続してきたことは、電気代の抑制に大きく寄与していたと考える。1-B-4の危機管理の一環としてのゴミ箱撤去にかかる加点提案は、軽微なものであるため、通常業務の範囲内と判断した(予防保全にかかる加点提案は項目1-B-1で評価)。			
	評価委員会記入欄			【評価すべき点】LEDへの転換および電気代を抑えたことは評価できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】リユース、リサイクル、SDGs関連の配慮を。			
C 法令等の遵守(※倫理性も含む)				個人情報保護、各種法令等は遵守されているか		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員		
		1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施 など	5.0	3.0	11.0 (満点15点)	
		2	個人情報事故への対応 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	5.0	4.5		
		3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	5.0	3.5		
			指定管理者者記入欄	【アピールポイント】HPのセキュリティを強化したほか、3年ぶりにコンプライアンス研修や個人情報保護法等の集合研修を実施。また、そもそも個人情報に触れる機会を減らすよう業務を見直した。紙での情報を扱わずに済む、WEBアンケートも前年に引き続き運用。法令等の遵守の一環として、施設管理部門のメンバー全員が建築物環境衛生管理基準に関する研修を実施した。 【改善すべき点・課題等】WEBアンケートに続き、チケットの転売対策および譲渡方法等の検討を進めたい。			
			区記入欄	【特記事項】全体的には通常業務の範囲内であるが、個人情報保護の取り組みを続けながら、公演に行けなくなった観客のチケットをリセールする仕組みを取り入れ、一般客のサービスアップにも繋がっている。1-C-1の個人情報保護としてホームページのセキュリティ強化等にかかる加点提案は、必須事項ともいえるため、通常業務の範囲内と判断した。			
			評価委員会記入欄	【評価すべき点】適切に行われている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

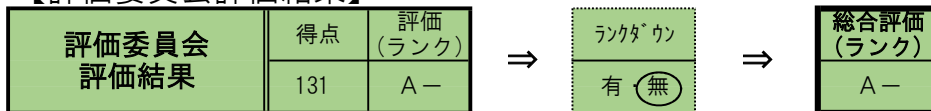
中項目		確認項目		
D 適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか		評価点×2	
			指定管理者	担当課
			10.0	10.0
			10.0 (満点10点)	
1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和4年度収支（プラス8,766千円） ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備 など			
指定 入 管理 者 記	【アピールポイント】 コロナ禍の影響によるキャンセル等の収入減を予測しながら、収支バランスをシビアに調整した。これにより、施設内の各所の補修・改修を実施した。光熱水費の高騰の影響があり、収支は前年より落ちたものの、それでもプラス収支を実現した。 【改善すべき点・課題等】 劇場利用は回復してきたが他施設は未だ回復途上なので、その強化を進めたい。			
区 記 入 簿	【特記事項】 事業実施や定員が制限されていたところから解除されていく一方、光熱水費の高騰の影響も少なくなかったが、安定的に施設を運営していたと考える。			
評 価 入 委 員	【評価すべき点】 プラス収支を実現している。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

大項目	中項目	確認項目				
				評価点		
2 事業 効果	A 事業の取 り組み	<b>仕様書や事業計画に沿った事業が提供されているか</b>		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員	
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、区広報誌、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	19.5  (満点25点)
		2	魅力ある鑑賞事業の企画・実施・成果 ◆シアター1010自主・共催事業	5.0	5.0	
		3	区民還元事業の企画・実施・成果 ◆区民還元事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		4	区の施策を考慮した事業の企画・実施・成果 ◆エンターテイメントチャレンジャー支援事業他	5.0	4.5	
		5	区共催事業の企画・実施・成果 ◆子どもと大人の文化芸術事業	5.0	2.0	
			指定 管理者 書記 入欄	【アピールポイント】ブランディングを意識しながら、TV、雑誌等のほか、多くの紙媒体を活用した広報活動を実施した。区制90周年に合わせ、全ての自主事業を「足立区制90周年記念事業」として実施。計画外の公演を実施するほか、著名な出演者も多く、入場率や満足度も高い結果となった。また、全主催公演で区民割引を実施。「えんチャレ」登録者を支援する公演では、ひとり親家庭を無料招待し、社会的意義のある事業を行った。 【改善すべき点・課題等】 今後はもう一歩踏み込んだ、協創文化事業の推進を図りたい。		
			区 記入 欄	【特記事項】公演企画を増やしたほか、臨時の無料招待企画、区制90周年への協力やあだち広報とのコラボ等、その他施策への協創を高く評価する。ひとり親家庭の招待企画は、幼少時から文化や劇場に触れる機会の創出に繋がったと考える。2-A-5について、事業計画策定時はまだコロナ禍による制限があったが、結果的にアウトリーチ等の実施に至らない事業があったことから基準点を減点した。また、入場率の高さにかかる加点提案は、申込数が伸びなかった公演も一部あったため、通常業務の範囲内と判断した。		
			評 価 委 員 入 欄	【評価すべき点】ブランディングへの熱意は感じるが、前面に出過ぎている懸念もある。区民の無料招待は評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】収益には繋がらないと思うが、例えば外国人が繋がることができるようなものや、日本人より演劇を必要としている人たち向けのもの等、少数の人しか来なくても必要とされるものを企画してほしい。館の運営で黒字を出すより、1公演を無料で区民用に実施することも検討してほしい。海外の取り組み等も参考にしてほしい。		
B 活動支援 の取 り組み	<b>適切な文化芸術活動支援を行っているか</b>		評価点			
		指定管理者	担当課	評価委員		
	1	区民への文化芸術活動の参加機会の提供及び活動支援 ◆体験型事業、活動支援 など	5.0	2.0	11.5  (満点15点)	
	2	文化芸術活動に関する交流促進に向けた取り組み ◆懇話会の運営、交流実績 など	5.0	4.0		
	3	文化芸術活動に関する情報収集・発信、相談の実施・成果 ◆相談受付、見学対応、情報発信 など	5.0	5.0		
		指定 管理者 書記 入欄	【アピールポイント】前年度同様、区内団体やギャラクシティ、竹の塚地域学習センターとの連携や情報共有を推進したほか、グループ企業関連の他施設と連携した。定期的に展示目的で利用する団体とも、相談から開催までこまめにサポートしてきた。また、日々の発信で、コロナ禍で減少傾向にあった「友の会」の会員も、再び増になった。高校演劇の支援も継続し、舞台芸術の継承を図ってきた。 【改善すべき点・課題等】 翌々年シアター1010も20周年を迎えるので、それに因んだ連携文化活動支援を進めたい。			
		区 記入 欄	【特記事項】区内中学校演劇部選抜も参加した高校演劇支援のほか、各種タイアップ等で、より多くの区民が劇場に足を運ぶきっかけになった。今後は公演鑑賞とは別の観点で機会創出や交流促進を図ることを期待する。友の会会員数の増は高く評価する。2-B-1について、事業計画策定時はまだコロナ禍による制限があったが、結果的にワークショップ等の実施に至らない事業があったことから基準点を減点した。また、区関連団体の公演に無料招待席を設けたこと等にかかる加点提案は、主に項目2-A-3で併せて評価することとし、それ以外は通常業務の範囲内と判断した。			
	評 価 委 員 入 欄	【評価すべき点】地道に行えている。ひとり親世帯の子どもたちを招待したことを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】 どの位のニーズがあって、どこまで応えているのかが、ある程度分かるとうよい。				

中項目		確認項目		
C 利用の状況		<b>適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)</b>	評価点	
			指定管理者	担当課
	1	利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超又は総利用者数の過去3年平均比増 利用率基準値/ホール65% 総利用者数過去3年(令和元~3年度)平均/186,655人	5.0	3.0
	指定管理者 記入欄	【アピールポイント】利用制限の状況把握と徹底した対策により、劇場利用率が前年比17ポイント増の79%に、劇場利用者数が4万人強増の11万人強に、施設の総利用者数は6万人強増の約22万人に伸び、コロナ禍前に比べ回復してきた。なお、過去3年間の平均利用率、平均総利用者数も超えている。 【改善すべき点・課題等】前述の劇場以外の施設の利用率を、もっと伸ばしてゆきたい。		
	区分 記入欄	【特記事項】様々な制限が解除されても、一度離れた客足はすぐに戻るとは限らないが、それでも施設の稼働率や利用者数はコロナ前のレベル近くまで増加していることを評価する。利用率アップにかかる加点提案は、基準で求めているものと大きな違いがないため、通常業務の範囲内と判断した。		
評価 記入 委員	【評価すべき点】入場率、満足度が高い。 【改善すべき点】アンケートがやや不正確。区民の利用が少ない。 【その他注意点】利用者数は増加しているが、コロナ禍前までには及んでいない。今後も取り組んでほしい。			
3 アンケート		<b>利用者の満足を得られているか(評価点×2)</b>	評価点×2	
			指定管理者	担当課
1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理的的確さ			
2	施設・設備満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示 など			
3	事業満足度 ◆事業内容の充実 など			
4	利用効果 ◆利用効果、意欲の向上 など			
者 指定 記入 管理 欄	【アピールポイント】 【改善すべき点・課題等】			
区分 記入 欄	【特記事項】全ての項目で概ね高評価であることを評価する。利用者が情報を取得する手段が、従来のものとは変わってきているのがアンケートからも読み取れる。HPの機能の充実が進んできているが、今後はSNS等、他のサービスの活用も検討してほしい。			
評価 記入 委員	【評価すべき点】満足度は高いように見える。 【改善すべき点】アンケートがわかりにくい。目的や何を知りたいか、誰に聞くかの整理を。			
合計点(指定管理者の合計点は、2-Dを計40点として算出)			159.0	136.5
				131.1

特記事項 (評価委員会による 総合評価を記入)	<p>ネットワークをうまく使って話題性のある公演を誘致し、存在感を示していることを評価する。アンケートでは話題のある公演やイベントを求める声が多いので、そちらに力を入れつつ、若い人や子ども向け、コンテンポラリー(※1)なもの、ノンバーバル(※2)なものにも注力してほしい。文案については特に区内大学の若い世代にも知らせてほしい。区民へのメリットをどう確保するかは課題。劇場側の認識と観客側のニーズにズレはないか。条例における目的達成のために区民へのダイレクトな貢献を強化してほしい。</p> <p>※1 コンテンポラリー…当世風。現代の。例：コンテンポラリーダンス、コンテンポラリーアート。 ※2 ノンバーバル…非言語。言葉を使わない。例：ノンバーバルコミュニケーション。</p>
-------------------------------	--

### 【評価委員会評価結果】



※評価結果は評価委員会が行う。  
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

### ＜評価委員会評価基準＞

得点	160点以下 144点以上	143点以下 133点以上	132点以下 120点以上	119点以下 108点以上	107点以下 95点以上	94点以下 87点以上	86点以下 0点以上
ランク	A+	A	A-	B+	B	B-	C
得点率	100%以下 90%以上	89%以下 84%以上	83%以下 75%以上	74%以下 67%以上	66%以下 60%以上	59%以下 55%以上	54%以下 0%以上

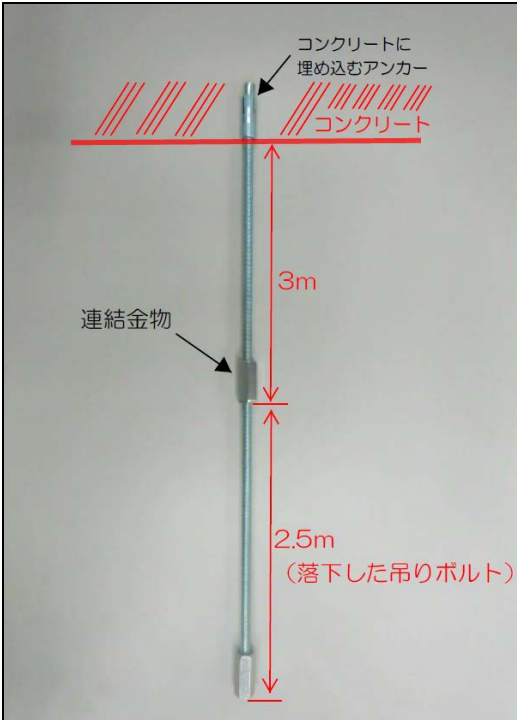
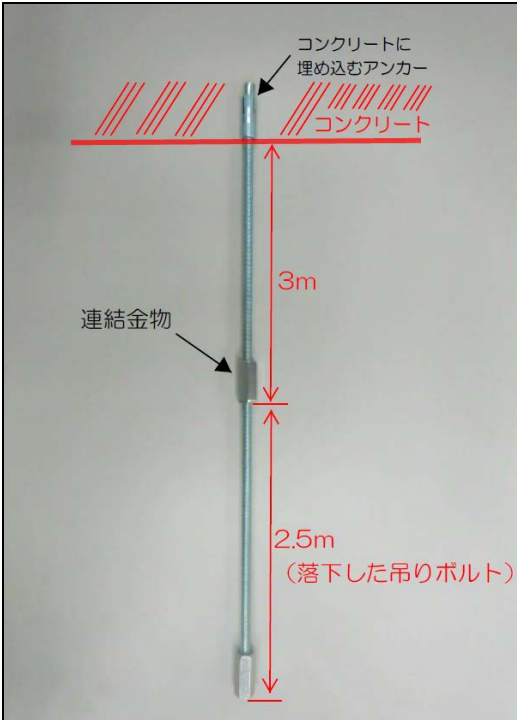
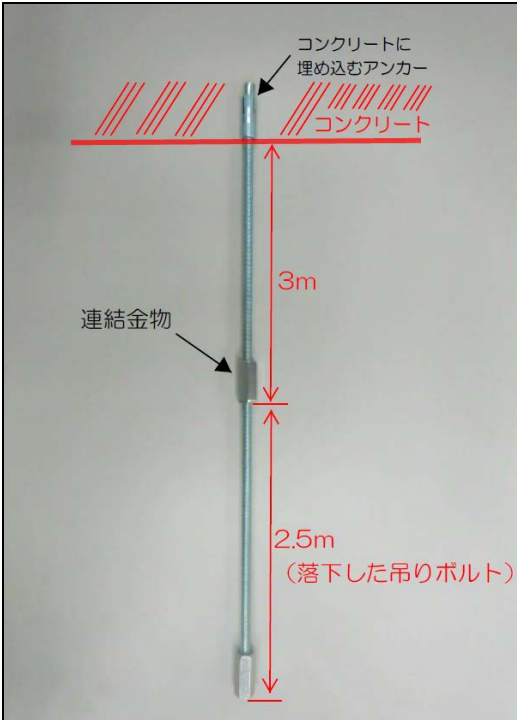
満点
160点

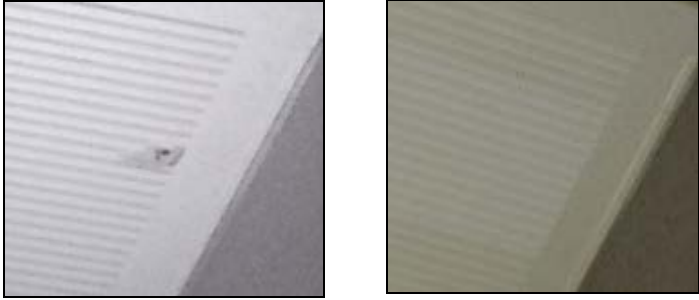
標準点
96点



# 区民委員会報告資料

令和6年2月28日

件名	足立区文化芸術劇場（シアター1010）天井裏ボルトの落下について										
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課 施設営繕部中部地区建設課										
内容	<p>足立区文化芸術劇場（シアター1010）ホワイエ天井裏にあった、電気コード等を固定するための金属棒（以下「吊りボルト」という。）落下の点検状況について報告する。</p> <p><b>1 事実経過</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="400 757 592 817">月日</th> <th data-bbox="592 757 1385 817">経緯事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="400 817 592 1765">1月1日</td> <td data-bbox="592 817 1385 1765"> <p>北千住マルイの防災センターから区に「2.5mの吊りボルト1本がロビーに落下している」と連絡有。</p> <p><b>【参考】落下した「吊りボルト」のイメージ。</b></p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1765 592 1877">1月2日</td> <td data-bbox="592 1765 1385 1877">生涯学習支援室長、施設営繕部長及び西部地区建設課長が吊りボルト1本落下と天井の破損状況確認。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1877 592 1937">1月4日</td> <td data-bbox="592 1877 1385 1937">施設営繕部職員が天井裏を確認。※</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1937 592 1998">1月12日</td> <td data-bbox="592 1937 1385 1998">専門業者へ委託し全体的な安全点検実施。※</td> </tr> </tbody> </table>	月日	経緯事項	1月1日	<p>北千住マルイの防災センターから区に「2.5mの吊りボルト1本がロビーに落下している」と連絡有。</p> <p><b>【参考】落下した「吊りボルト」のイメージ。</b></p> 	1月2日	生涯学習支援室長、施設営繕部長及び西部地区建設課長が吊りボルト1本落下と天井の破損状況確認。	1月4日	施設営繕部職員が天井裏を確認。※	1月12日	専門業者へ委託し全体的な安全点検実施。※
月日	経緯事項										
1月1日	<p>北千住マルイの防災センターから区に「2.5mの吊りボルト1本がロビーに落下している」と連絡有。</p> <p><b>【参考】落下した「吊りボルト」のイメージ。</b></p> 										
1月2日	生涯学習支援室長、施設営繕部長及び西部地区建設課長が吊りボルト1本落下と天井の破損状況確認。										
1月4日	施設営繕部職員が天井裏を確認。※										
1月12日	専門業者へ委託し全体的な安全点検実施。※										

月 日	経緯事項
1月30日	<p>再度、休館日を利用し、専門業者による天井破損箇所の補修と全体的な点検を行った。</p> <p><b>【補修前】</b>                      <b>【補修後】</b></p> 

※ 未使用（電気コード等を吊っていない）の吊りボルトを、1月4日に3本、1月12日に4本を撤去した。

**【参考】 電気コードを吊っているボルト**



**2 吊りボルト落下の原因**

天井等を吊っていない未使用ボルト が約20年間の地震などの揺れで少しずつ緩み、今回落下したものと推測される。

なお、使用しているボルトは固定され、回転しないため緩まない。

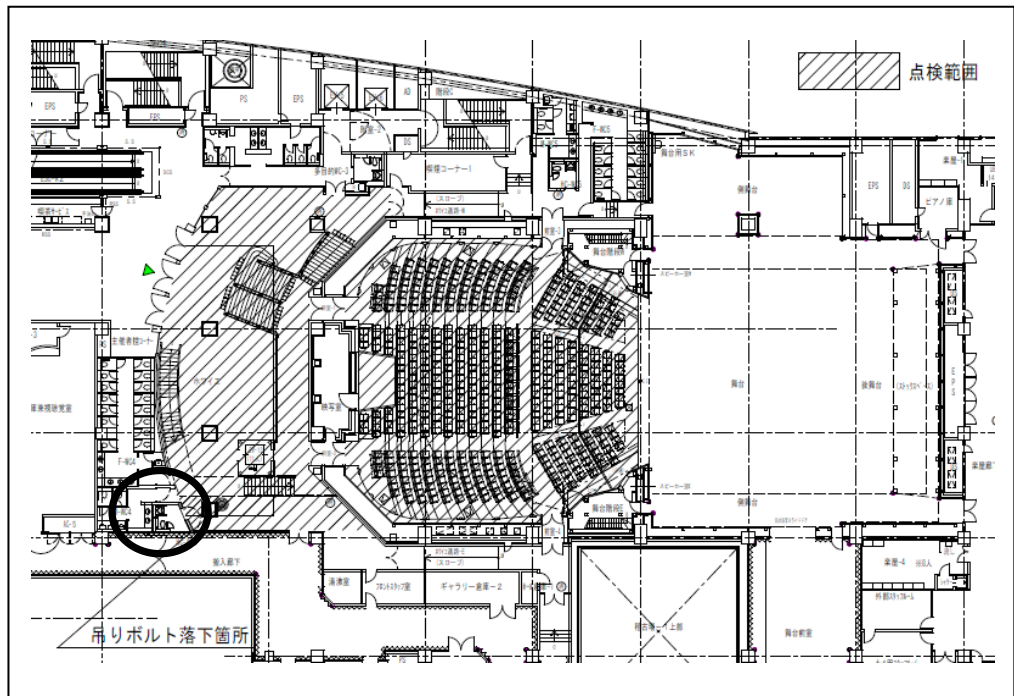
**3 緊急安全点検概要**

- (1) 1月4日と1月12日に 施設営繕部職員及び専門業者による点検を実施。
- (2) 落下の恐れのある7本の吊りボルトを撤去した。
- (3) 1月30日に天井破損箇所の補修とともに、再点検を実施。
- (4) 1月12日と1月30日の点検で、使用しているボルトも含め、全て点検を行い、安全を確認した。

#### 4 客席の吊り天井について

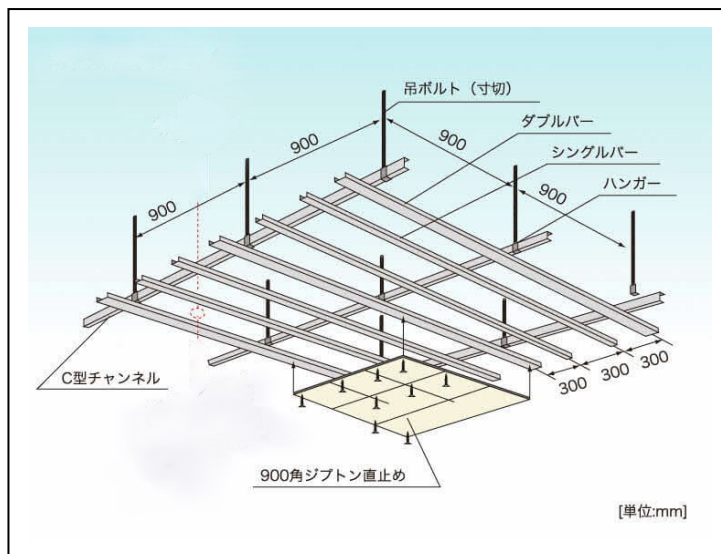
平成25年の法改正に伴い、点検のうえ補強を行った。

#### 5 落下箇所と点検範囲



※ 点検範囲は網掛けのとおり。

#### 6 一般的な天井の構造



# 区民委員会報告資料

令和6年2月28日

件名	足立区文化・読書・スポーツ分野計画の一部改定及びパブリックコメントの実施結果について						
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室3分野連携担当課、地域文化課生涯学習支援課、スポーツ振興課、中央図書館						
内容	<p>足立区文化・読書・スポーツ分野計画（「足立区文化芸術推進計画」「足立区読書活動推進計画」「足立区運動・スポーツ推進計画」）を別添のとおり一部改定した。</p> <p>またパブリックコメントの実施結果についても、次のとおり報告する。</p> <p><b>1 文化・読書・スポーツ分野計画の一部改定（別添資料1～3のとおり）</b></p> <p>(1) 計画の概要</p> <p>ア 3分野共通の課題及び方向性 3分野共通の課題として「アフターコロナへの対応」「共生社会に対する意識・理解の変化」「デジタル技術の進展」を設定し、取り組みの方向性を記載</p> <p>イ 主な改定点 (ア) 現行の施策体系を維持しつつ、3分野共通の課題に対する取り組みを関連施策に追加 (イ) 成果指標・活動指標を「より高い目標値の設定」「事業の開始・廃止に伴う指標の追加・削除」の視点で見直し (ウ) 3分野共通の課題を踏まえ、特に重点的に取り組むべき「重点項目」を追加</p> <table border="1" data-bbox="472 1373 1426 1727"> <tr> <td data-bbox="472 1373 667 1476">文化</td> <td data-bbox="667 1373 1426 1476">① 文化芸術鑑賞の裾野を広げる ② 文化資源の次世代への継承</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1476 667 1579">読書</td> <td data-bbox="667 1476 1426 1579">① アフターコロナやデジタル化の進展などの変化に対応した読書支援活動</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1579 667 1727">スポーツ</td> <td data-bbox="667 1579 1426 1727">① 「スポーツを通じた共生社会の実現」のための取り組み ② 「みるスポーツ」の機会拡大のための取り組み</td> </tr> </table> <p>(2) 計画期間</p> <p>ア 新計画策定開始までの期間を十分に確保するため、計画期間を令和8年度まで延長する。 変更前 令和2年度から7年度まで 変更後 令和2年度から8年度まで</p> <p>イ コロナ禍からの回復状況を考慮し、令和7年度の目標値を令和8年度目標値とする。</p>	文化	① 文化芸術鑑賞の裾野を広げる ② 文化資源の次世代への継承	読書	① アフターコロナやデジタル化の進展などの変化に対応した読書支援活動	スポーツ	① 「スポーツを通じた共生社会の実現」のための取り組み ② 「みるスポーツ」の機会拡大のための取り組み
文化	① 文化芸術鑑賞の裾野を広げる ② 文化資源の次世代への継承						
読書	① アフターコロナやデジタル化の進展などの変化に対応した読書支援活動						
スポーツ	① 「スポーツを通じた共生社会の実現」のための取り組み ② 「みるスポーツ」の機会拡大のための取り組み						

## **2 パブリックコメントの実施結果**

(1) 実施期間

令和5年11月25日（土）から12月24日（日）まで

(2) 意見提出者数

5人（21件）

(3) 意見及び意見に対する区の考え方

別添資料4のとおり

## **3 問題点・今後の方針**

改定版計画のもとで、着実に施策や事業を展開していく。

# 区民委員会報告資料

令和6年2月28日

件名	<b>足立区文化・読書・スポーツ推進委員会からの令和5年度助言に対する区の考え方について</b>																
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室3分野連携担当課、地域文化課生涯学習支援課、スポーツ振興課、中央図書館																
内容	<p>令和5年8月に文化・読書・スポーツ推進委員会（以下、「推進委員会」）から提示された助言に対する区の考え方をまとめたため、次のとおり報告する（詳細は別添資料5のとおり）。</p> <p><b>1 主な内容</b></p> <p>(1) 文化芸術分野への助言に対する区の考え方</p> <table border="1" data-bbox="400 869 1380 2112"> <thead> <tr> <th data-bbox="400 869 895 920">助言</th> <th data-bbox="900 869 1380 920">助言に対する区の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="400 927 1380 965"><b>ア 文化資源の次世代への継承</b></td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 972 895 1111">① 区文化財の保存と利活用に関して、計画的に保護する仕組み作りに期待したい。</td> <td data-bbox="900 972 1380 1111">令和6年度中を目途に文化財の保存と利活用に関する行動計画を策定する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1117 895 1352">② 特に、伝統行事の映像化や古民家のリノベーションなどの好事例を、メディアなどを積極的に使って区外へも紹介してほしい。</td> <td data-bbox="900 1117 1380 1352">「旧板垣家」の日本料理店へのリノベーションのような、有形・無形文化財の保護と利活用の好事例を周知する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1359 895 1594">③ 子ども達取り組みやすい、外国人が参加しやすい「文化の継承」についても考える必要がある。</td> <td data-bbox="900 1359 1380 1594">気軽にアクセスできる「文化財デジタルマップ」や四コマ漫画「ビビビ美アダチ」をさらにPRし、区にゆかりのある文化財に関心を寄せるきっかけづくりを進める。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="400 1601 1380 1639"><b>イ 連携や交流の創出によるプラットフォームの形成</b></td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1646 895 1859">① プラットフォームの形成は手段であって目的ではない。原点に戻って、何を指すべきかの検討が必要である。</td> <td data-bbox="900 1646 1380 1859">プラットフォームについては、既存の連携事業や交流会の現状把握を行い、その成果を踏まえたうえで、新たなプラットフォームの必要性について検討する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1865 895 2112">② 文化芸術交流会（足立シティオーケストラ、足立吹奏楽団、足立区民合唱団の音楽3団体）の開催によって、足立区に新たな音楽文化が生まれることを期待する。</td> <td data-bbox="900 1865 1380 2112">文化芸術交流会（足立シティオーケストラ、足立吹奏楽団、足立区民合唱団の音楽3団体）を含め、音楽団体との意見交換を行うことで、さらなる活動の活性化を目指していく。</td> </tr> </tbody> </table>	助言	助言に対する区の考え方	<b>ア 文化資源の次世代への継承</b>		① 区文化財の保存と利活用に関して、計画的に保護する仕組み作りに期待したい。	令和6年度中を目途に文化財の保存と利活用に関する行動計画を策定する。	② 特に、伝統行事の映像化や古民家のリノベーションなどの好事例を、メディアなどを積極的に使って区外へも紹介してほしい。	「旧板垣家」の日本料理店へのリノベーションのような、有形・無形文化財の保護と利活用の好事例を周知する。	③ 子ども達取り組みやすい、外国人が参加しやすい「文化の継承」についても考える必要がある。	気軽にアクセスできる「文化財デジタルマップ」や四コマ漫画「ビビビ美アダチ」をさらにPRし、区にゆかりのある文化財に関心を寄せるきっかけづくりを進める。	<b>イ 連携や交流の創出によるプラットフォームの形成</b>		① プラットフォームの形成は手段であって目的ではない。原点に戻って、何を指すべきかの検討が必要である。	プラットフォームについては、既存の連携事業や交流会の現状把握を行い、その成果を踏まえたうえで、新たなプラットフォームの必要性について検討する。	② 文化芸術交流会（足立シティオーケストラ、足立吹奏楽団、足立区民合唱団の音楽3団体）の開催によって、足立区に新たな音楽文化が生まれることを期待する。	文化芸術交流会（足立シティオーケストラ、足立吹奏楽団、足立区民合唱団の音楽3団体）を含め、音楽団体との意見交換を行うことで、さらなる活動の活性化を目指していく。
助言	助言に対する区の考え方																
<b>ア 文化資源の次世代への継承</b>																	
① 区文化財の保存と利活用に関して、計画的に保護する仕組み作りに期待したい。	令和6年度中を目途に文化財の保存と利活用に関する行動計画を策定する。																
② 特に、伝統行事の映像化や古民家のリノベーションなどの好事例を、メディアなどを積極的に使って区外へも紹介してほしい。	「旧板垣家」の日本料理店へのリノベーションのような、有形・無形文化財の保護と利活用の好事例を周知する。																
③ 子ども達取り組みやすい、外国人が参加しやすい「文化の継承」についても考える必要がある。	気軽にアクセスできる「文化財デジタルマップ」や四コマ漫画「ビビビ美アダチ」をさらにPRし、区にゆかりのある文化財に関心を寄せるきっかけづくりを進める。																
<b>イ 連携や交流の創出によるプラットフォームの形成</b>																	
① プラットフォームの形成は手段であって目的ではない。原点に戻って、何を指すべきかの検討が必要である。	プラットフォームについては、既存の連携事業や交流会の現状把握を行い、その成果を踏まえたうえで、新たなプラットフォームの必要性について検討する。																
② 文化芸術交流会（足立シティオーケストラ、足立吹奏楽団、足立区民合唱団の音楽3団体）の開催によって、足立区に新たな音楽文化が生まれることを期待する。	文化芸術交流会（足立シティオーケストラ、足立吹奏楽団、足立区民合唱団の音楽3団体）を含め、音楽団体との意見交換を行うことで、さらなる活動の活性化を目指していく。																

助言	助言に対する区の考え方
<b>ウ 情報の集約及び効果的情報発信の強化</b>	
<p>① 情報の収集については、用語の内容が発信者と受信者でギャップの無いように共有されているか、確認が必要である。区民の文化芸術のイメージは「琳派の花園」のような企画であると誤認しているのではないか。</p>	<p>区民へアンケートを実施する際は、「文化芸術」は「音楽や美術だけでなく映画を楽しむことも含む」などの補足説明をして、イメージが湧きやすい表現に取り組んでいく。</p>
<p>② 文化芸術の推進につながる普及活動では、「関心喚起」や「行動生起」<sup>※1</sup>へ繋がる「きっかけ」が重要である。効果的な「きっかけづくり」が期待される。</p> <p>※1 「関心喚起」…興味関心を引き起こすこと。 「行動生起」… 行動を起こすこと。</p>	<p>「文化財デジタルマップ」の公開や、郷土博物館の「電子展覧会」と「動画 de あだち」での琳派の紹介など、実際の文化財への興味へつながる「きっかけ」となるような情報発信を実施した。今後とも、区展受賞者のインタビューや文楽の出演者を広報で紹介するなど、人に着目した情報発信により、区民の「行動生起」<sup>※1</sup>へ繋げていく。</p>

(2) 読書分野への助言に対する区の考え方

助言	助言に対する区の考え方
<b>ア 子どもとその保護者が身近な場所で本に親しめる機会の提供</b>	
<p>子どもたちの読書活動には、大人に対しても働きかけること、子どもの視点に立った活動が重要である。</p>	<p>「親子での読み読みの割合」が比較的高い水準で推移する一方、「子どもの読者と保護者の読者の関連を知っている」保護者の割合は5割前後に留まっている。計画の一部改定も踏まえて、令和6年度から新たな取り組みも進めていく。</p>
<b>イ 多様な連携による読書活動の推進</b>	
<p>図書館を利用しない人や読書に関心がない人には、人々の興味を刺激するきっかけとなる活動を展開し、読書の面白さや有効性を積極的に周知・広報していくことが求められる。</p>	<p>区の世論調査では、最近1か月に「図書館に行く」と答えた人が約12%となっている。今まで図書館を利用しなかった人、読書に関心がなかった人でも図書館に足向けるきっかけとなるよう、講座やイベントを積極的に開催するとともに、利用者の新たな居場所となるような空間づくりを進めていく。</p>

助言	助言に対する区の考え方
<b>ウ アフターコロナやデジタル化の進展などの変化に対応した読書支援活動</b>	
<p>若年層を中心とする電子書籍の利用者の増加や、図書とウェブ環境との使い分け、生成系AIの出現など多様な変化を見据え、より速度をあげる形でデジタル化への対応が望まれる。</p>	<p>通信環境の充実やICTの進歩、電子書籍市場規模の拡大などにより、読書分野を取り巻く環境は急速にデジタル化が進行している。こうした環境の変化への対応として、電子書籍の蔵書数の充実に取り組んでいくとともに、区のDX化の方向性に合わせながら、利便性の向上に努めていく。</p>
<b>エ 読書支援活動の指標</b>	
<p>貸出冊数の多寡だけではなく「来館者へのサービス提供」や「非来館者に対しての活動」「読書が人々にもたらす影響」を把握することも必要である。</p>	<p>図書館の役割が多様化している現状を踏まえ、国や都の指標なども参考の上、計画の本改定に合わせて短期的・長期的成果の把握可否や測定方法について検討する。 なお、貸出冊数や来館者数などの基本的な指標についても、現計画の進行管理のため、計画の本改定まで引き続き把握と評価を行っていく。</p>

(3) 運動・スポーツ分野への助言に対する区の考え方

助言	助言に対する区の考え方
<b>ア 誰もが運動・スポーツを身近な存在であると実感できる取り組み</b>	
<p>① 運動・スポーツを身近な存在と実感できるよう、日常生活で積極的に体を動かす事も運動と伝えてほしい。</p>	<p>普段の生活の中で行う積極的な「身体活動」や散歩などが運動・スポーツに含まれることや、運動・スポーツに取り組むことで生まれる価値や効果を言語化・見える化する工夫をしながら発信していきたい。</p>
<p>② 区内の身近なヒーローを紹介し、スポーツへの関心を高めてほしい。</p>	<p>区に縁のある選手やチームをSNSで紹介したり、同じ空間で応援する「パブリックビューイング」の場を設けるなど、「みるスポーツ」の充実を図ることで、様々なスポーツに触れられる工夫をしていく。</p>



助言	助言に対する区の考え方
<b>イ 身近な場所で運動・スポーツを楽しめる取り組み</b>	
<p>① 区施設利用にこだわらず、銭湯といった地域資源を活用したランニングステーションなどの事業展開や、民間施設の休館日利用などを検討してほしい。</p>	<p>銭湯では、すでにランニングステーションや介護予防体操や脳トレを行った後、入浴ができる「ふれあい遊湯う」（介護予防事業）なども行われているが、今後も運動・スポーツにつながる地域資源としての活用について、浴場組合を通じた連携を行うとともに、情報発信に力を注いでいきたい。</p>
<b>ウ 「スポーツを通じた共生社会の実現」のための取り組み</b>	
<p>① 障がい者と健常者が共に汗を流せる機会を継続してつってほしい。</p>	<p>「ボッチャ広場」や「パラスポーツ体験会」など、継続してパラスポーツができる場を確保するとともに、スポーツコンシェルジュのアウトリーチなどの活動を積極的におこなうことで、住区センター等地域において気軽に取り組める機会や、障がい者や特別支援学校の生徒との交流の場を拡充するなど、活動の裾野を広げていく。</p>
<b>エ 3分野連携の実現に向けて</b>	
<p>① スポーツや運動をしながら書籍が読めたり、映画や音楽を見たり聞いたりできるサービスなど、既にある機会をとらえ発展させてほしい。</p>	<p>気軽に取り組めるための工夫の一つとして、三分野連携の考え方を取り入れた事業展開を継続していく。</p>
<p>② スポーツ施設やスポーツ事業の中で関連する大学教員の書籍や、講座の紹介を提案したい。</p>	<p>大学で行われる公開講座情報等については、イベント時やスポーツ振興課に設置されているインフォメーションコーナーを活用し、紹介の機会を広げていく。</p>
<p><b>2 今後の方針</b></p> <p>推進委員会からの助言に対する反映結果を踏まえ、改定後の3分野計画の中で取り組みを推進していく。</p>	

# 区民委員会報告資料

令和6年2月28日

件名	未返却図書資料対策プランについて															
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館															
内容	<p>図書館の未返却図書資料の発生予防及び返却対策に関する「未返却図書資料対策プラン（以下、「対策プラン」という。）（別添資料6参照）を策定したため、次のとおり報告する。</p> <p><b>1 計画名</b> 未返却図書資料対策プラン（令和6年3月～令和9年3月）</p> <p><b>2 目的</b> 「予防」と「早期督促」に重点を置き、長期（1か月以上）未返却の図書資料を新たに「増やさない」取り組みを推進するため。</p> <p><b>3 実施期間</b> 令和6年3月から令和9年3月まで</p> <p><b>4 最終目標（令和8年度末）</b> (冊)</p> <table border="1" data-bbox="437 1205 1331 1462"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度末実績</th> <th>令和8年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長期末返却冊数</td> <td>5,525</td> <td>2,900</td> </tr> <tr> <td>1年未満の延滞冊数</td> <td>1,226</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>1年以上の延滞冊数</td> <td>3,604</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>権利を放棄する冊数</td> <td>695</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>5 対策プランの主な取組み内容</b></p> <p>(1) 新たな未返却本を発生させない取り組み【新規】</p> <p>ア 返却期限を記載したしおりによる周知・啓発（令和6年度導入予定） 「あなたの次に読みたい人が待っています」等の文言を記載し、図書貸出時に全員に配付する。</p> <p>イ ブックポストの商業施設への新規設置（令和5年度中） 区内商業施設（3か所）に新たにブックポストを設置し、返却しやすい環境を整える。</p> <p>(2) 早期督促を強化する取り組み【拡充】<b>重点項目</b></p> <p>ア 貸出し停止の前倒し（令和6年度導入予定） 足立区立図書館館則（以下、「館則」という。）を改正し、貸出し停止措置の開始時期を、現行の「返却期日から1か月後」から「返</p>		令和4年度末実績	令和8年度末	長期末返却冊数	5,525	2,900	1年未満の延滞冊数	1,226	500	1年以上の延滞冊数	3,604	2,000	権利を放棄する冊数	695	400
	令和4年度末実績	令和8年度末														
長期末返却冊数	5,525	2,900														
1年未満の延滞冊数	1,226	500														
1年以上の延滞冊数	3,604	2,000														
権利を放棄する冊数	695	400														

却期日の翌日」に前倒しする。

イ SMSの発信強化（令和6年度導入予定）

対象者への到達率が高いSMSの送付時期及び回数を、現行の「返却期日から3週間後に1回のみ」から「返却期日から2週間後以降、複数回送付」に変更する。

(3) 長期間の督促にも関わらず返却の見込みがない図書資料を解消する取り組み【新規】

ア 金銭による請求を求める催告書の発送（令和6年度導入予定）

館則を改正し、一定期間（概ね1年）返却がない者に対して、紛失したとみなして金銭請求する必要がある旨を記載した催告書を発送する。

イ 債権管理条例に基づく債権管理

催告書を送付し期日までに返却がない者のうち、資料の希少性等も踏まえ、返還させることが適当と判断した場合には、資料を紛失したものとみなして金銭債権として管理し、催告等の手続きを検討する。

(4) 返還請求権の放棄【継続】

長期間の督促にも関わらず、返却の見込みがない図書資料について、改めて訪問督促を実施し、議会の議決を経て返還請求権を放棄する。

## 6 取組みの効果（見込み）

本対策プランの取組みにより、令和8年度末までに「長期未返却冊数の約50%減」（令和4年度末比）を目指す。

【長期未返却冊数】 5,525冊（令和4年度末実績）

→ 2,900冊

